

～江戸時代の人々のセンスやユーモアに学ぶ～

江戸の判じ絵に挑戦！

江戸時代、庶民の間で知的娯楽として流行った「判じ絵」。

これはだれもがやったことのある「なぞなぞ遊び」や「クイズ」のひとつです。

「判ずる・判じる」というのは「考えてその意味を解く」「判断する・判定する」という意味で、「判じ絵」は問題を絵で表現しあてさせる、まさに「目で見るとなぞなぞ」です。

ダジャレや洒落がきいていて、なかなか面白いものです。そこから当時の人々のセンスやユーモアを感じとることができます。

2年生の歴史の授業で江戸時代の生活を学習した際、生徒たちもこの判じ絵づくりに挑戦しました。

以下 生徒作品の一部を紹介します。

それぞれあるお店の看板を表わしています。何を売っているお店かわかりますか。



絵をよくみて、判じてみよう！

ヒントも参考に 答えは最後にあります

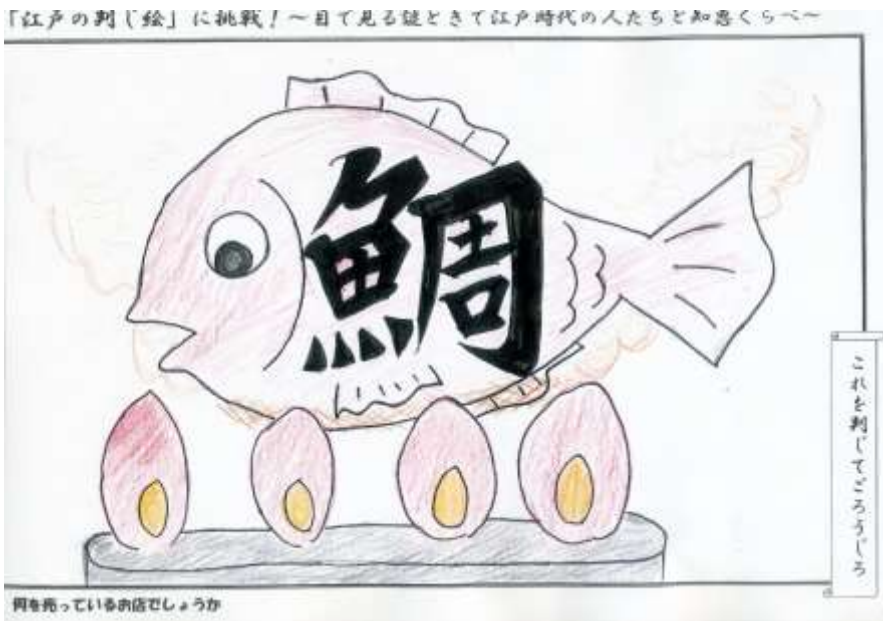
第1問



ヒント

台所でつかうよ

第2問



ヒント

鯛が焼かれているから・・・

おいしいよ

第3問

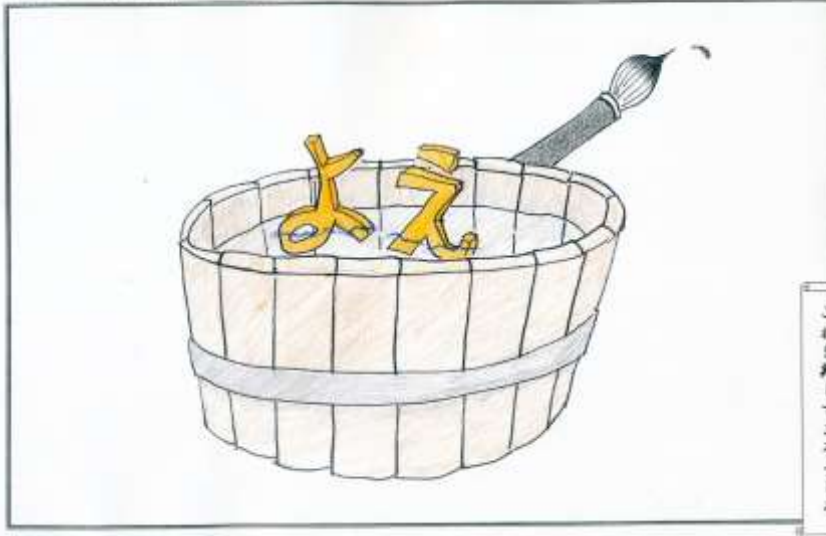


ヒント

夏の風物詩といえば、
これですよね

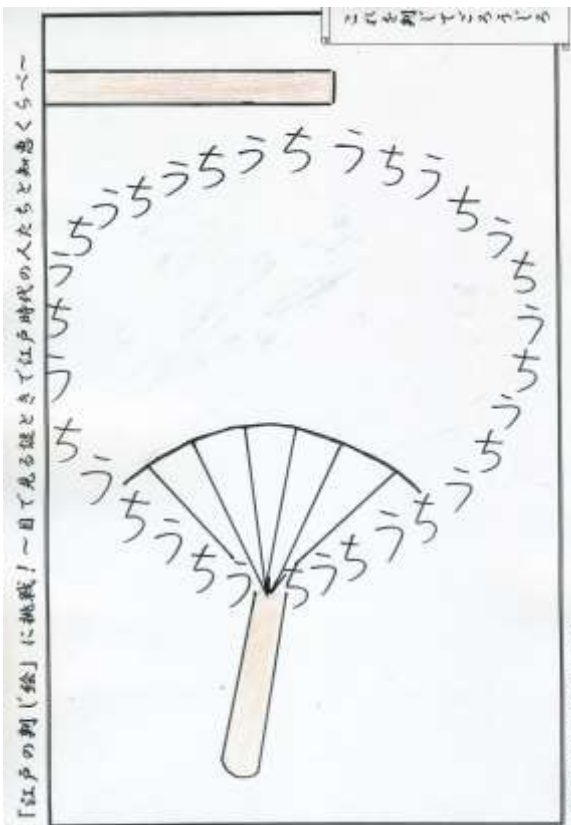
第4問

「江戸の判(絵)に挑戦! ~目で見る謎ときで江戸時代の人たちと知恵くらべ~



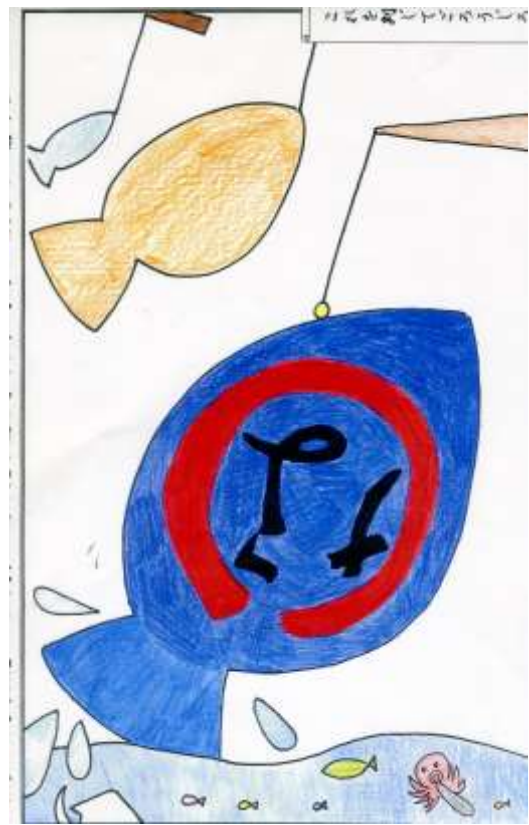
ヒント
「よえ」の字が浮いているから・・・
江戸時代に盛んに描かれ大人気

第5問



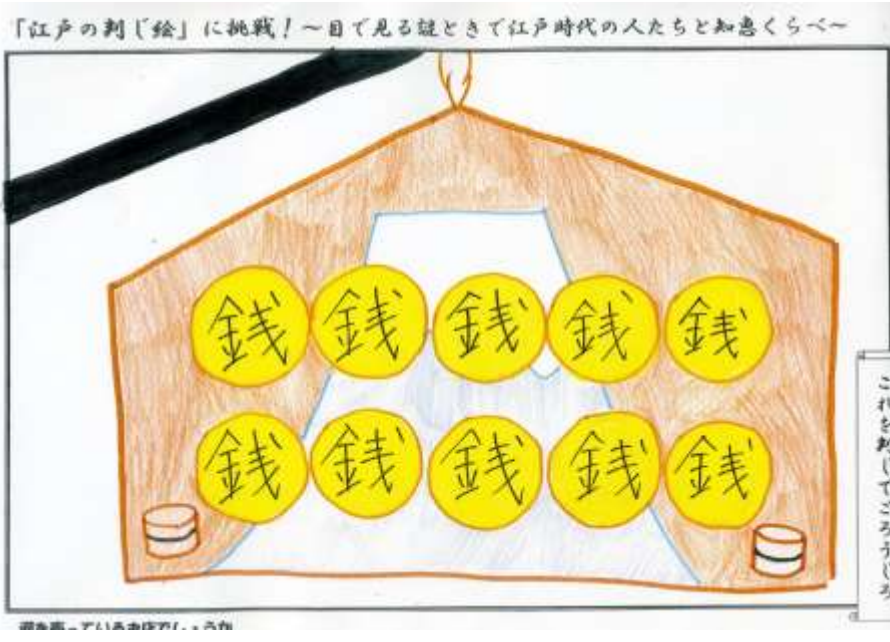
ヒント
「うち」が輪になっているから・・・

第6問



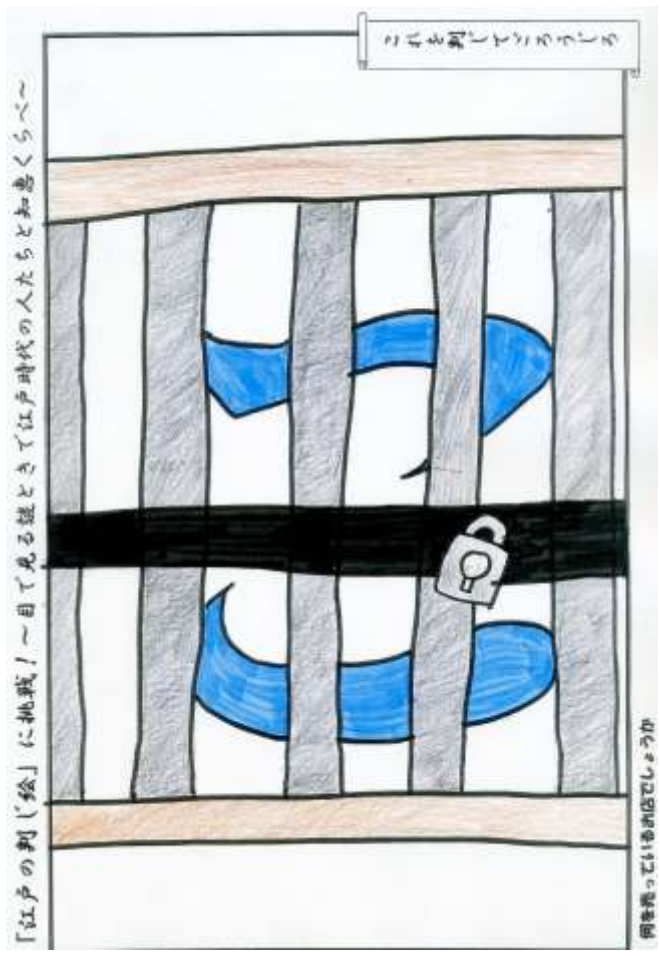
ヒント
「な」の字がさかさになっているから

第7問



ヒント
「銭」が10個で…
やっぱり
気持ちいい～ね

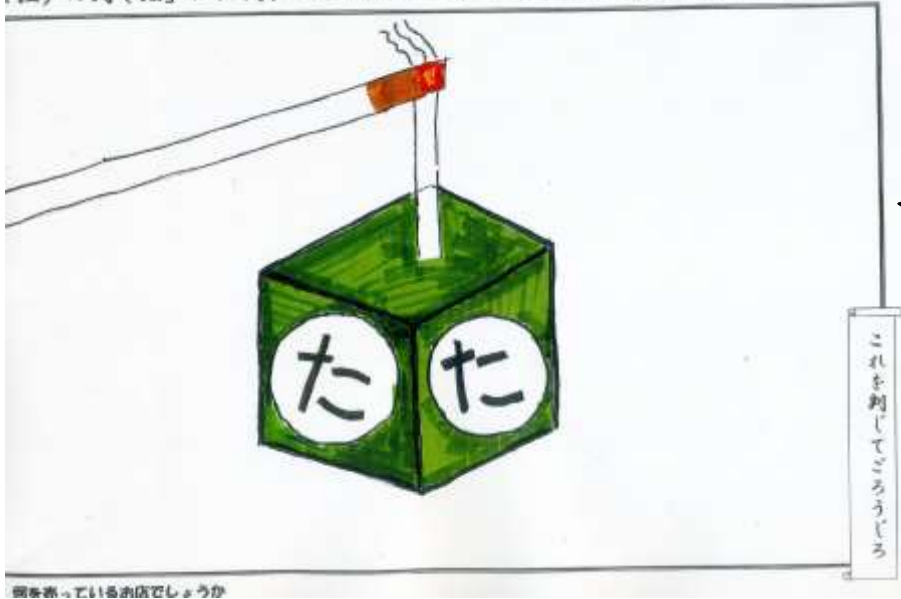
第8問



ヒント
「こ」の字が檻に
入っているよ
冷た～い

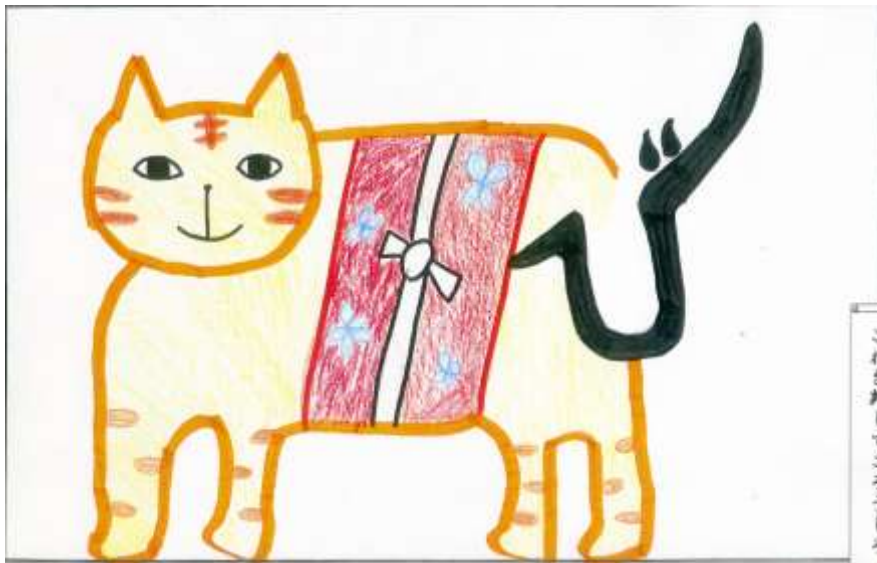
第9問

「江戸の判じ絵」に挑戦！一目で見る謎ときで江戸時代の人たちと知恵くらべ～



ヒント
「た」が箱（はこ）
になっているから
...

第10問



しっぽが「び」の字
になっている

着物には、これ！

いかがでしたか？ 生徒たちは、遊び心や想像力を豊かにしてイラストに工夫をこらしながら問題づくりに取り組んでいました。完成後は、お互いに問題を解きあい、ワイワイと楽しい授業となりました。

- | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|
| 問題の答 | ①たわし | ②鯛焼き | ③花火 | ④浮世絵 | ⑤うちわ |
| | ⑥魚 | ⑦銭湯 | ⑧氷 | ⑨タバコ | ⑩帯 |

参考文献 小学館『江戸の判じ絵』岩崎均史